

令和 7 年度事業計画について (令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで)

1 事業推進方針

公益財団法人として、県民の総合的な健康づくりをより一層積極的に推進し、県民の疾病予防、健康の保持・増進に寄与する。

このため、健（検）診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健（検）診受診率向上への取組み、豊富な健診情報を元にした調査分析活動への積極的な取組み、より効果の高い啓発活動の展開等を推進する。

2 各事業概要

(1) 健（検）診・検査事業

① 地域保健

広く県民の受診機会の拡大が図られるよう、県、市町村及び各地区の医療機関と連携を図りながら、各種健（検）診・検査を実施する。

主な健（検）診・検査

(単位：件)

項 目	7 年度 計画数 (A)	6 年度 実績見込数 (B)	増減 A-B	5 年度 実施数
特定健康診査	19,200	20,140	△ 940	20,062
特定保健指導	270	270	0	308
結核健康診断 (うち肺がん検診と同時受診分)	49,800 (28,600)	51,300 (29,600)	△ 1,500 (△ 1,000)	52,558 (26,059)
がん検診	79,880	84,710	△ 4,830	86,292
胃がん検診	7,800	9,680	△ 1,880	10,541
肺がん検診 (うち結核健康診断と同時受診分)	32,600 (28,600)	33,100 (29,600)	△ 500 (△ 1,000)	30,132 (26,059)
低線量肺がん C T 検診	11,500	11,500	0	11,641
大腸がん検診	12,250	13,000	△ 750	13,299
子宮頸がん検診	6,530	6,930	△ 400	8,196
乳がん検診	5,400	4,200	1,200	6,065
前立腺がん検診	3,800	6,300	△ 2,500	6,418
胃がんリスク検査	1,000	1,060	△ 60	1,203
腹部超音波検診	870	870	0	884
骨粗鬆症検診	1,200	1,260	△ 60	1,311

※ 特定健康診査（特定健診・後期高齢者健診等含む）

※ () 内の件数については、重複となります。

② 職域保健

職場での健康診断と併せて、その事後措置としての保健指導や運動指導等を実施することにより、勤労者の健康増進に取り組む。

主な健（検）診・検査

（単位：件）

項 目	7 年度 計画数 (A)	6 年度 実績見込数 (B)	増減 A-B	5 年度 実施数
特定健康診査	450	460	△ 10	524
特定保健指導	1,130	930	200	766
結核健康診断	4,200	4,220	△ 20	5,076
一般健康診断	52,500	52,270	230	53,105
生活習慣病予防健診(協会けんぽ)	11,600	11,530	70	11,187
特殊健康診断	5,185	5,055	130	4,849
じん肺健康診断	420	480	△ 60	418
石綿健康診断	60	70	△ 10	59
有機溶剤健康診断	1,580	1,480	100	1,457
鉛健康診断	35	35	0	35
電離放射線健康診断	1,090	1,090	0	1,136
特定化学物質健康診断	2,000	1,900	100	1,744
指導勧奨による特殊健康診断	1,840	1,840	0	1,697
情報機器作業健康診断	470	470	0	491
騒音作業健康診断	190	190	0	10
振動業務健康診断	1,120	1,120	0	1,126
沃素健康診断	60	60	0	70
がん検診	35,650	35,425	225	35,857
胃がん検診	11,300	11,220	80	11,397
肺がん検診	370	370	0	480
低線量肺がん C T 検診	1,580	1,580	0	1,784
大腸がん検診	14,800	14,730	70	14,334
子宮頸がん検診	3,250	3,235	15	3,449
乳がん検診	2,050	2,020	30	2,061
前立腺がん検診	2,300	2,270	30	2,352
腹部超音波検診	1,900	1,900	0	1,755
骨粗鬆症検診	600	570	30	1,008

※ 一般健康診断（雇入時・定期・特定業務従事者含む）

③ 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査、心臓検診に加え、結核健康診断、小児生活習慣病予防健診などの各種健（検）診・検査を実施し、児童生徒の健全な育成、疾病の早期発見や予防に資する。

（単位：件）

項 目	7 年度 計画数 (A)	6 年度 実績見込数 (B)	増減 A-B	5 年度 実施数
結核健康診断	9,900	9,950	△ 50	10,372
寄生虫卵検査	2,000	2,470	△ 470	2,961
尿検査（腎臓病、糖尿病検査）	95,500	96,720	△ 1,220	97,736
心臓検診	8,500	8,940	△ 440	7,642
学校貧血検査	17,200	17,680	△ 480	18,104
小児生活習慣病予防健診	2,500	2,530	△ 30	2,573

④ 母子保健

新生児マススクリーニング検査において、新生児の先天性代謝異常や内分泌異常の早期発見・早期治療の一層の充実を図る。

令和2年度より、検査対象疾患を拡大し、重症複合型免疫不全症とライソゾーム病の検査を有料事業（個人負担を要する検査）として開始している。

また、令和5年度から脊髄性筋萎縮症を新たに有料事業の対象疾患に加える。

（単位：件）

項 目	7 年度 計画数 (A)	6 年度 実績見込数 (B)	増減 A-B	5 年度 実施数
先天性代謝異常等検査	7,000	7,200	△ 200	7,653
拡大検査	ライソゾーム病	5,600	△ 200	6,033
	重症複合型免疫不全症			
	脊髄性筋萎縮症			

⑤ 人間ドック

生活習慣病の予防及び疾病の早期発見を目的に、協会の施設や機能を生かした検査内容やコースの設定等、受診者にとって利便性の高い人間ドックの充実を図る。

（単位：件）

項 目	7 年度 計画数 (A)	6 年度 実績見込数 (B)	増減 A-B	5 年度 実施数
人間ドック	1,100	1,110	△ 10	1,112

⑥ ワクチン接種

インフルエンザワクチン接種を取り入れ既存顧客への付加価値と収益の改善を図る。

(単位：件)

項 目	7 年度 計画数 (A)	6 年度 実績見込数 (B)	増減 A-B	5 年度 実施数
ワクチン接種	500	440	60	-

⑦ その他

給食従事者の検便や就職・進学時に必要な診断書作成の為の健康診断を実施する。

(単位：件)

項 目	7 年度 計画数 (A)	6 年度 実績見込数 (B)	増減 A-B	5 年度 実施数
腸内細菌検査	21,500	21,800	△ 300	22,108
クリニック	600	550	50	476

(2) 精度管理の強化

① 各種委員会の設置、運営

協会が実施する健康診断、各種検査、保健指導等の各種業務について、その精度の維持・向上を目的とし、健（検）診精度管理委員会及び各種専門委員会を定期的に開催する。

各種専門委員会（9 部門）

生活習慣病、結核・肺がん、肺がん C T、乳がん、新生児マススクリーニング、
消化器がん、子宮がん、超音波検査、小児保健

② がん検診の精度管理

がん検診の各工程が適切に行われたかを測るプロセス指標を算出し、がん検診の精度管理を行う。

(令和 5 年度 協会実施各がん検診のプロセス指標値) (単位：%)

	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
要精検率	3.01	2.17	6.22	3.51	1.72
精検受診率	81.67	90.80	63.78	91.23	82.50
がん発見率	0.08	0.10	0.13	0.48	0.01
陽性反応的中度	2.58	4.83	2.03	13.68	0.61

※令和 5 年 2 月末日現在の状況

＜参考＞各がん検診におけるプロセス指標 許容値 (単位：%)

	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
要精検率	11.0 以下	3.0 以下	7.0 以下	11.0 以下	1.4 以下
精検受診率	70.0 以上	70.0 以上	70.0 以上	80.0 以上	70.0 以上
がん発見率	0.11 以上	0.03 以上	0.13 以上	0.23 以上	0.05 以上
陽性反応的中度	1.0 以上	1.3 以上	1.9 以上	2.5 以上	4.0 以上

※厚生労働省：今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（報告書）より

③ 職員の資質向上

人間ドック学会、日本消化器がん検診学会、日本医師会、県医師会、予防医学事業中央会、結核予防会、日本対がん協会、全国労働衛生団体連合会等の上部組織が行う精度管理事業に積極的に参加する。

また、各種技術研修会等へ積極的に職員を派遣し、関係職員の更なる技術向上に努めるとともに、事業を実施していく上で特に必要の高い「胃がん検診専門技師」、「肺がんＣＴ検診認定技師」、「超音波検査士」、「細胞検査士」日本乳がん検診精度管理中央機構の「検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師」「乳がん検診超音波検査実施技士」などの認定資格等の取得を目指す。

(3) 健康づくり支援

健康寿命の延伸や健康格差の縮小には、本県健康事情を把握し、生活習慣病の発症予防の徹底を図ることが重要であるため、循環器疾患、がん、糖尿病の予防を中心とした、健康づくりの支援を展開する。

① 健診データ解析情報のフィードバック

協会が実施した健診データを解析し、これらの情報を保健所、市町村、職場、学校等にフィードバックすることにより、それぞれの団体の健康課題を明確にするとともに、各団体における健康づくりを支援していく。

② 保健指導の充実及び研修会、教室等の開催

生活習慣病発症予防を目的とした特定保健指導をはじめとする健診後の指導を展開し、個々の生活習慣の改善に繋げていく。

内 容		令和 7 年度（計画）	6 年度（見込）
特定	動機付け支援	700 人	650 人
	動機付け支援相当	40 人	35 人
	積極的支援	660 人	515 人
一般保健指導		150 人	130 人
講師派遣による健康講話		4,600 人（86 回）	4,600 人（86 回）

※健康講話の内容

実施者：医師・保健師・管理栄養士・健康運動指導士

内 容：糖尿病予防について

小児生活習慣病予防について
生活習慣病予防について
仕事のパフォーマンスも上がる、肩こり、腰痛予防・改善対策
あなたも絶対走れる！脂肪を燃やすスロージョギング
手抜きで減塩♪日本一簡単な料理教室
好ましい生活リズムと睡眠について など

③ 電話勧奨事業

市町村が実施するがん検診の受診率の向上を図るために、効果があるとされている個別の受診勧奨・再勧奨を実施し、がんの早期発見・早期治療に努める。

(4) 普及啓発等

県民が主体的に健（検）診を受診し、生活習慣を改善するために積極的に実践できるよう、県民に対し啓発を行う。

① 健康情報の発信

- ・ 協会ホームページの活用

健（検）診や健康づくりに関する情報をさらに充実し、幅広い年齢層が健康づくりに活用できる情報の発信を強化する。

- ・ 健康情報誌「サンテ宮崎」（年３回 各４,０００部）

県民の知りたい事に寄り添った内容を厳選し、分かりやすい表現で作成することで誰もが健康づくりに関心を持てるような機関誌にする。

② 講演会や研修会、健康イベント等の開催

- ・ Karada Good Miyazaki フェスタの開催

がんを含む生活習慣病の正しい知識の発信を行い、県民の健康への関心を高めるとともに、健（検）診・検査の受診率の向上、健康寿命の延命を図ることを目的として、みやざきの食と農を考える県民会議や宮崎県関係機関と共催したイベントを実施する。

- ・ 他団体が行う講演会やイベント内での啓発

他団体が開催する講演会やイベントで、健康に関するリーフレットのサンプリングやブース設置等を行い健康づくりの啓発をする。

③ 団体が実施する健康づくりへの支援（市町村・企業や団体）

市町村や団体が行う健康教室や健康まつり等で、協会が所有する健康づくり機器やパネル等を貸出し、健康づくりや健診への理解を深める啓発を支援する。

④ 上部団体（（公財）結核予防会、（公財）日本対がん協会）と連携した広報啓発

- ・ 結核予防会

結核予防週間（９月２４日～９月３０日）

○結核の常識（冊子）や結核予防週間ポスターの配布

○世界禁煙デー（５月３１日）に伴う禁煙ポスターの配布

複十字シール運動（８月１日～１２月３１日）

結核や胸部の疾患の予防や早期発見・早期治療を訴えるため宮崎県地域婦人連絡協議会と共に街頭キャンペーンを実施し、募金活動を行う。
（令和６年度 1,721,638 円（見込額） ７年度目標額 1,660,000 円）

知事表敬訪問

地域婦人連絡協議会と県関係機関と共に表敬訪問し、関係機関への協力要請を行う。

・日本対がん協会

がん征圧月間（９月）

○リーフレットやポスターを市町村や各学校、事業所や医療機関に配布する。

○県内で宮崎県地域婦人連絡協議会と街頭キャンペーンを開催する。

○県庁に懸垂幕を掲示する。

○各新聞にがん関係の特集記事とともに広告を掲載する。

○デジタルクーポン（日本対がん協会発行）のアナウンスをし、無料検診を実施する。

⑤ がん克服者団体支援事業

・各団体が行うがん検診啓発活動（キャンペーン等）へ助成金交付を行う。

（５）県委託事業

① 健康づくりに携わる人材育成

・健康増進計画評価支援事業

計画や事業評価のための評価支援研修会開催や専門職の知見や技術習得のための支援者育成研修会

・健診・保健指導従事者研修事業

特定健診・保健指導に係る技術的支援に関する研修会

・母子保健指導員研修事業

母子保健活動の向上を図ることを目的とした研修会

・健康づくり推進員等育成事業

各市町村において自主的活動を行っている健康づくり推進員等を対象とした研修会

・食生活改善推進員育成事業

食生活改善推進委員に対する研修会

・運動指導者育成事業

運動指導に取り組む指導者育成のための実技を含めた講習会

② 健康づくりにおける情報発信・調査研究

- ・健康情報分析発信事業
県内の健康寿命等の各種健康指標を分析し、県健康づくり推進センターホームページを通じて情報発信する。
- ・地域健康推進研究事業
健康づくりに関する調査・研究の成果及び先駆的な取り組みの研究発表

③ がん検診の受診率向上及び精度管理

- ・がん情報分析・発信事業
県内のがん検診受診率、がんによる死亡者数などがんに関するデータを分析し、ホームページ等を通じて情報発信する。
- ・がん検診受診促進事業（がん検診受診率向上プロジェクト）
官民協働でがん検診の受診率向上に取り組む「がん検診受診率向上プロジェクト」を実施するとともに、「ピンクリボン活動みやざき」実行委員会事務局の運営を通して、乳がん検診の啓発を行う。
- ・生活習慣病検診管理指導協議会運営事業（胃・肺・乳・子宮・大腸がん）
生活習慣病の動向を把握し、市町村や検診実施機関の行う検診の精度管理の状況を把握・評価し、専門的な見地から適切な指導を行うことを目的とし協議会を運営する。

④ 「働く女性の健康づくり」に着目した効果検証事業

ライフステージごとに様々な課題を持つ働く女性の健康づくりに着目し、県内企業と連携しながら、職場環境改善などによる身体活動量のアップなど健康増進効果を検証する。

⑤ 糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防調査・分析事業

保険者や医療機関に調査票を送付・回収して糖尿病対策における取組を集計・評価することにより、各団体及び医療圏等の課題を踏まえた取組を推進する。

⑥ 事業所への定期歯科健診推進事業

事業所向け研修会を開催して定期歯科健診を実施するメリットを周知し、定期歯科健診を実施する事業所を増加させるとともに、受診勧奨を実施することにより、県民が定期歯科健診を受診できる機会の増加を図る。

⑦ 宮崎県がん登録事業

県下全域の居住者に発生した全てのがんについて、その発症から治療、死亡に至るまでの経過に関する情報を収集登録する事業で、得られた情報を用いることにより、宮崎県におけるがんの現状を把握、分析し、総合的ながん対策に役立てる。

(6) DXの推進

協会の喫緊の課題である経営の合理化、DXの推進のため、令和7年1月1日付けで組織改正を行い、経営改革対策監、業務改善・DX推進室を設置した。当該部署の職員を中心に業務分析、業務改善を図り、総合的な経営改革を推進する。

① 経営状況に応じた効率的な人員配置

生産性向上を図り、高コスト体質から脱却を図るため適材適所の人員配置を行う。また、人事評価制度を見直し、職員の役職手当に反映させ職員のモチベーションの向上を図る。

② DX導入による業務効率化の推進

職域オンライン予約や、労務管理システムの導入を検討し、業務の効率化を推進する。そのためにコンサルティング会社の意見を聞くなど外部の意見も積極的に取り入れる。